

## 「NPO 法人 空とぶ森」の活動として、登山道の整備と環境学習講座を実施しました

アジア航測（株）は、環境技術を社会の環境教育・環境保全活動に役立てる目的で、地域社会貢献に取り組む NPO 法人の活動に協力しています。

今回は、自然と共生する産業としての林業や農山村地域の喪失防止・再生を実現し、森林・環境保全活動に取り組む『特定非営利活動法人（NPO 法人）空とぶ森』の森林・環境保全活動の一環として、2022 年 5 月 28 日（土）に群馬県みなかみ町大峰山地区で登山道整備を行いました。

前日は雷を伴う豪雨という最悪の天候でしたが、当日は早朝から快晴となり、大人 24 名、子供 3 名で作業を開始しました。

今回の活動では、登山道に落ちている枯れ枝の除去や横たわる倒木の除去を主な活動とした他、環境学習講座として、登山道沿いの樹木の種類や特徴について、「NPO 法人 空とぶ森」の太田理事に要所要所でワンポイント講座を行っていただきました。また、登山道に沿って特徴的な樹木に名板を設置し、登山道周辺の植生図も作成しました。



写真1 活動前の KY ミーティング

地理院地図  
GSI Maps

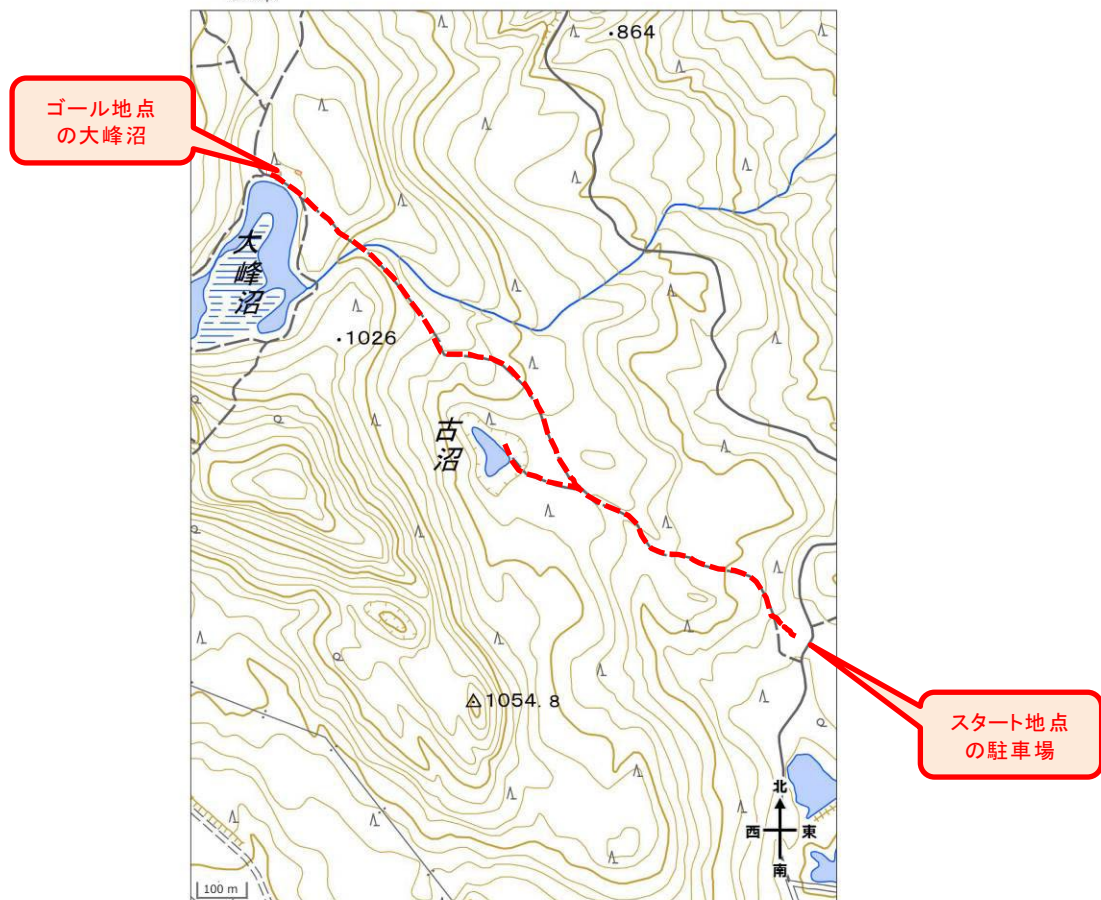


図1 活動実施場所位置図

◆枯れ枝除去・倒木除去作業

活動日前日の豪雨の影響もあり、4月11日に下見を実施した際には見られなかった枯れ枝が散乱しており、倒木が登山道に横たわる箇所もありました。



写真2 参加者全員で枯れ枝の除去

大峰登山口を出発し、古沼分岐点から古沼間、また、古沼分岐点から大峰沼まで、気になる枯れ枝を登山道脇に除去し、倒木も複数人で登山道脇に移動しました。下山時には気になる支障物は無くなり、登山者がスムーズに利用できるようになりました。



写真3 倒木の移動作業

4月には、この辺りに倒木なんて見当たらなかったのですが…



倒木があった辺りの4月の状況

◆「NPO 法人 空とぶ森」太田理事によるワンポイント講座

大峰山の登山道（大峰山登山口～大峰沼）周辺に見られる樹木について、その特徴や見分け方など要所要所で太田理事がワンポイント講座を行ってくださいました。



写真4 葉っぱを見ながら特徴を説明



写真5 環境や枝の生え方なども



大槻理事もワンポイント講座を開講！

## ワンポイント講座で取り上げた樹木の例！



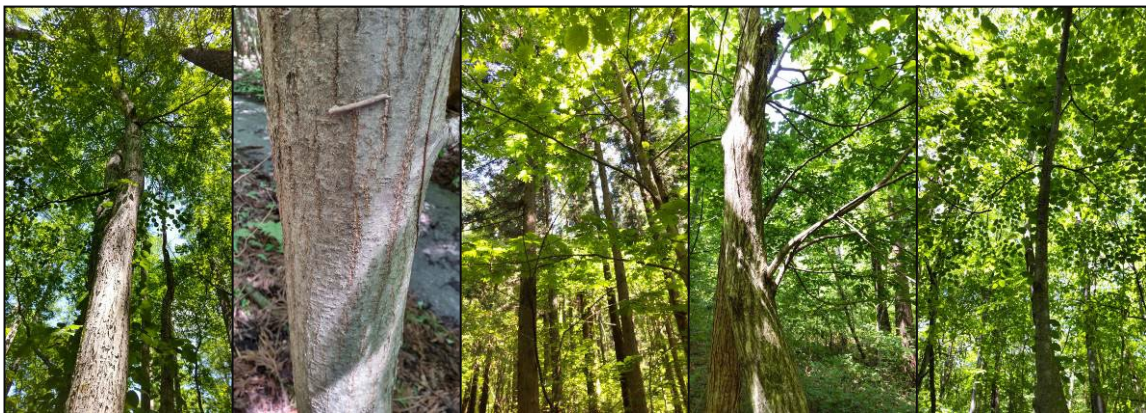
アワブキ

ウラジロモミ

ウリハダカエデ

オオヤマザクラ

カジカエデ



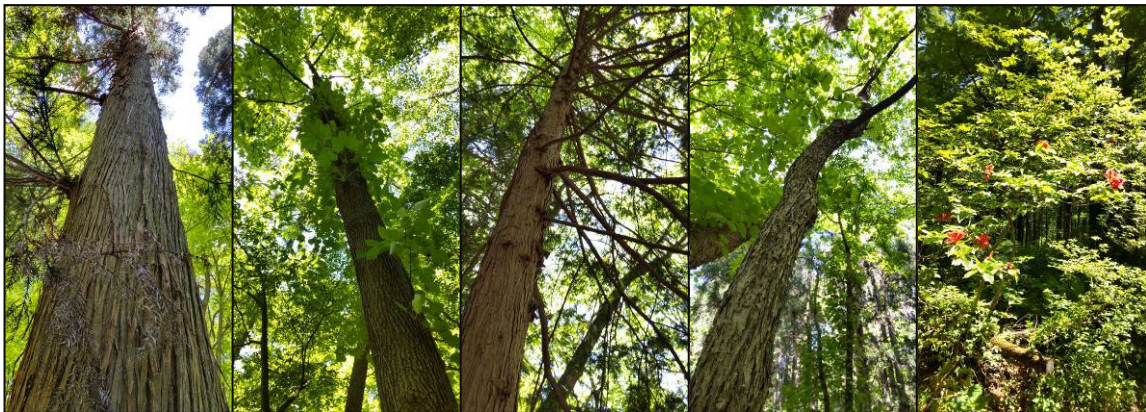
カツラ

コハウチワカエデ

サワグルミ

サワシバ

シナノキ



スギ

ハリギリ

ヒノキ

ミズナラ

ヤマツツジ

太田理事は数冊の樹木図鑑も持参され、やる気がみなぎっていました。また、参加者からの質問にもわかりやすく回答されていました。太田理事ありがとうございました。

### ◆樹木への名板設置

参加した子どもたちは、太田理事に教えていただいた樹木名をマジックで名板に書いて、それぞれの樹木に設置しました。なお、1種類につき1枚作成し、全部で25種類になりました。名板はもちろん国産材（ヒノキ材）で麻紐によって結びつけました。



写真6 理事長も名板設置



写真7 幹が太いと設置が大変



写真8 見やすく設置完了

モリアオガエルの繁殖地である古沼の辺でも植生のチェック！

◆登山道周辺の植生図の作成

アジア航測(株)森林・農業ソリューション技術部に所属する参加者は、その知識と経験を生かして、登山道周辺の植生図の作成にチャレンジしました。

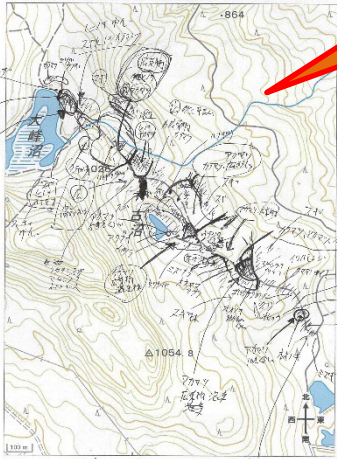


GPS 計測はバッチリ



写真9 古沼の辺でも黙々と植生のチェック

地理院地図



活動中にメモをした植生図の原本がコレ！

登山口はスギが多かったのですが、300m も進めばアカマツが主体となります。さらに、古沼の周辺ではカラマツが多くなり、標高と地形の違いで植生に大きな変化のあることがわかりました。  
 なお、●は名板を設置した樹木の位置を示しています。

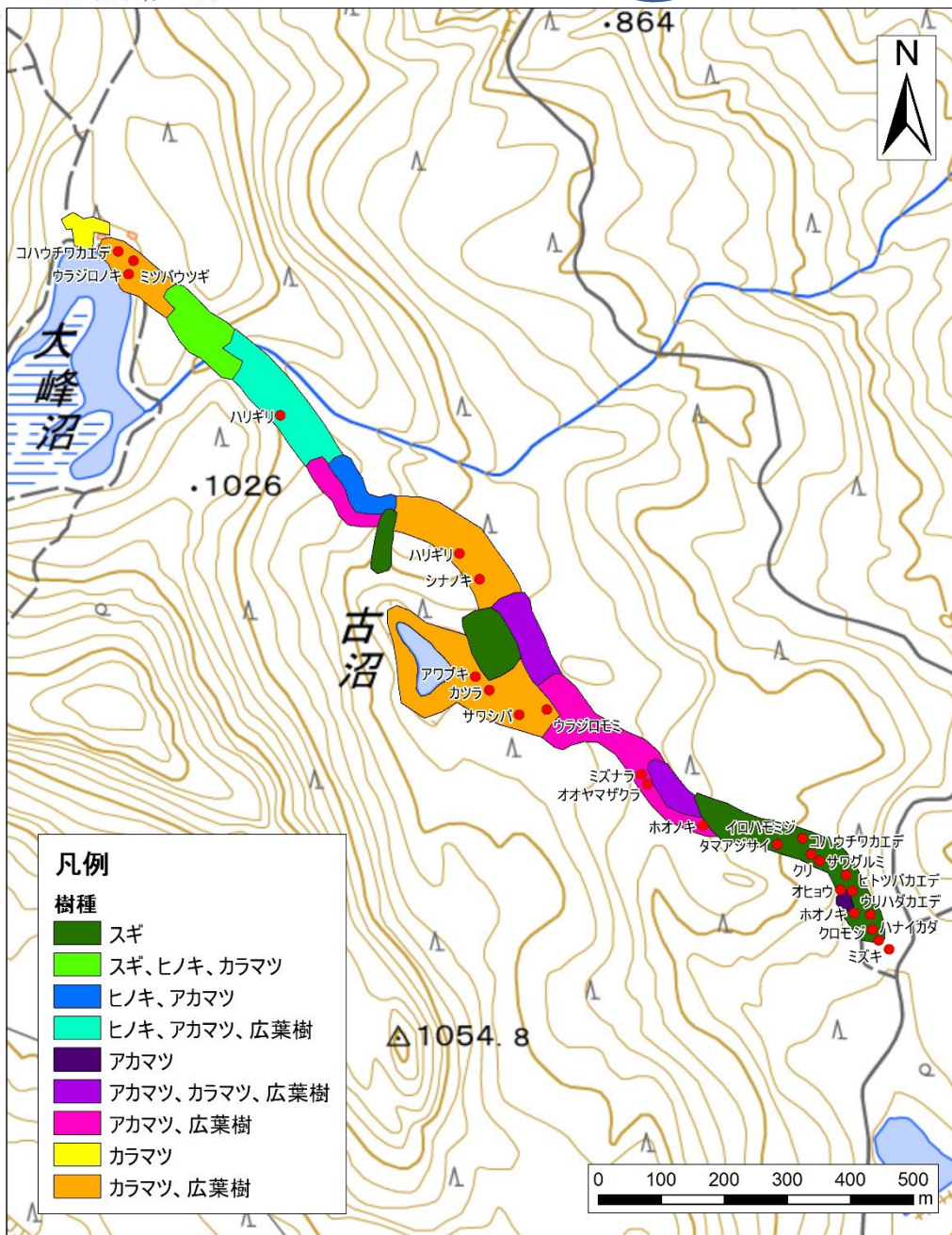


図2 登山道周辺の植生図(大峰山登山口～大峰沼)

参加者全員、心地よい汗を流し、とても満足な活動ができました。今後も、アジア航測(株)は、NPO 法人 とのパートナーシップを含めた企業市民としての活動を推進してまいります。



ドローン登場



写真 10 (株)プライムプランからも参加



写真 11 大峰沼の辺で集合！

みなさんお疲れ様でした。